

区分・種別	県指定有形文化財（考古資料）		
名称	かねこやまこふんしゅつどひん 金子山古墳出土品 1括		
所在地	新居浜市西の土居町		
所有者	慈眼寺	管理団体	
指定年月日	昭和63年4月19日		
解説	<p>昭和25（1950）年の発掘調査の時に、主体部（竪穴式石室）及び墳丘裾部より長鎖付耳飾・鏡2面・刀剣数口・玉類数千点のほか、埴輪類が出土している。</p> <p>金銅製の長鎖付耳飾1対、銅釧1個、碧玉製・瑪瑙製・玉髓製の勾玉6個、碧玉製の管玉58個、琥珀製の棗玉4個、同平玉5個、その他丸玉・小玉が2902個、滑石製の白玉28個、水晶製の切子玉2個、真珠製小玉1個などの装身具をはじめ、武具として、刀剣類も出土している。</p> <p>また、「 侯王」の文字がある画文帯六神四獣鏡（直径21センチメートル）1面、四鈴鏡1面（青銅直径12.7センチメートル）も出土している。この画文帯六神四獣鏡は、75文字の銀象嵌大刀銘で知られる熊本県の江田船山古墳から出土した鏡の1面と同型のものである。</p> <p>墳丘裾部からは円筒埴輪と朝顔形埴輪が出土している。</p>		

